



問 高尾川の管理を

はせがわこうせい
長谷川 公成
議員



録画映像はこちら

Q 高尾川は豪雨時には氾濫をおこすこともあり、市民生活に大きな影響を及ぼしている。また高雄交差点付近では側溝に土砂が堆積し、道路冠水の一因となっているため2点伺う。

A ①高尾川については本市としても重要な課題と捉えています。直近では令和7年7月に筑紫野市と協議を行い、現況を共有するとともに、河川改修は基本的に下流側から整備を行うことを確認し、今後の可能性を検討しています。

②道路側溝は雨水等の排水を目的とするものです。高雄交差点付近の現状は市も把握しています。側溝は日ごろからの維持管理が大切となりますので、土砂撤去が必要な場合は国や県に引き続き適正な管理を要望してまいります。



大雨時の高尾川(2018年頃)の様子

全質問項目

- ◇高尾川の河川改修と側溝内の土砂撤去について
- ◇高雄交差点の改良について
- ◇学童保育所のクラス分けについて



問 「すぐやる班」の更なる推進を

はしもとけん
橋本 健
議員



録画映像はこちら

Q すぐやる班は、市民の方からの緊急性の高い要望に対して迅速に対応する施策である。すぐやる班が発足して2年目を迎え、市民の要望に素早い機動力を発揮して現場に赴き、困りごとを解決していくことによって、市民から大いに喜ばれ、深く感謝されると確信している。そこで、現在活躍中のすぐやる班について、3点伺う。

A ①主な活動内容は、市有地の草刈りや樹木の伐採、カーブミラーの調整や放置自転車の回収、側溝の土砂上げ、不法投棄の監視パトロール、有害鳥獣出没時の出動対応、イノシシ用箱などの点検及び捕獲など、市民ニーズに機動的に対応しています。

②令和6年度の主な活動件数は、先ほど述べた活動内容を合計すると1,000件余りとなっています。

③今後は、さらなる認知度向上を図り、市民ニーズに機動的、積極的に応えていく事が必要であると考えます。



すぐやる班

全質問項目

- ◇すぐやる班について
- ◇元気づくりポイント事業について



問 市庁舎への懸垂幕設置で
応援を

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 本市出身の矢ヶ部紋可さん、真衣さん姉妹が第10回アジア太平洋ろう者競技大会にデフバトミント日本代表として出場し、女子ダブルスと団体戦で優勝し、金メダルを獲得された。

A 市からの情報発信については、ホームページやSNS、広報紙などの媒体を通じて広くお知らせしてきました。さらには、テレビや新聞などの報道機関に取材をいただけるよう、積極的にプレスリリースを行ってきました。報道機関を通じて発信される情報は、基本的には市の経費をかけることなく広域のかつ効率的に伝わるため、費用対効果の面からも最も有効な方法であると考えています。

の1つとして検討を重ねていきたいと考えます。



市役所庁舎懸垂幕

また、太宰府東中学校3年生の今村好花さんは第52回全日本中学校選手権女子100メートルハードルで中学校新記録を打ち立て、2連覇を果たされた。彼女たちの活躍をたえらるとともに、市庁舎に懸垂幕を掲げて市民に広く知らせるべきだと考えるが、市の見解を伺う。

懸垂幕の活用については、宣伝効果や経費面、適用範囲などの検証を行いながら選択肢

全質問項目

- ◇市役所庁舎への懸垂幕設置について
- ◇地域の公園について



問 子どもたちの未来に向けた
学校教育の課題と対応策

徳永 洋介 議員



録画映像はこちら

Q 本市の学校教育における諸課題と方向性について3点伺う。

A ①本市の小中学校における働き方改革の課題と方向性について
②部活動地域移行の課題と方向性について
③本市の不登校対策について

①本市教職員の時間外勤務は、小・中学校ともに減少傾向にあり、働き方改革の成果が徐々に表れてきています。今後も、働き方改革指針に基づき、支援体制や職場環境の整備を進めていきます。また、ストレスチェックの実施を通じて、職場環境の改善につなげていきます。

②国は、部活動の「地域移行」を「地域展開」と方針転換し、令和8年度からの着手が求められています。本市においても部活動改革会議を開催し、地域展開に向けた具体的な協議を進めています。



全質問項目

- ◇本市の学校教育における諸課題と方向性について



問 高齢者の外出を支える
タクシー券助成制度を提案

馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 重度障がい者への支援策として、福祉タクシー券の助成や運転免許を自主返納した者への交通系ICカード交付制度は存在する。一方、高齢者を対象とした継続的な移動支援制度は、現時点では設けられていない。

A ①タクシーは柔軟かつ個別対応が可能で、買い物や通院など日常の移動手段として有効です。一方、タクシー券助成制度の導入にあたっては、対象者の範囲や予算規模、公平性の確保、地域の交通事業者との調整、既存の公共交通とのバランスなど、検討すべき課題があります。加えて、今後の公共交通の在り方について所管部署で検討が進められていることも踏まえ、慎重な対応が必要で

支援策について調査・研究を進めていきます。



全質問項目

- ◇高齢者の移動支援策としてのタクシー券助成制度導入について
- ◇デマンド交通の実証実験と公共交通の広域整備について



問 国際理解・国際交流活動を
広めよう

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 「国際理解は人間理解」という基本理念のもと太宰府西小学校が進めてきた国際理解教育が今年36年目を迎える。人間理解の深まりは日常生活におけるコミュニケーション能力の向上にも繋がる。国際理解教育と国際交流活動について2点伺う。

A ①国際理解教育は異文化理解と共生を促す教育で、各学校が計画的に取り組んでいます。本市では小学校6年生、中学2年生を九州国立博物館に招待し、グローバルな視点を持った子どもの育成を目指しています。国際理解教育を大切にし、多文化に感謝する力やコミュニケーション能力の育成を図っていきます。

多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



全質問項目

- ◇国際理解教育と国際交流活動について
- ◇海外姉妹都市交流と、市長の海外視察について



問 プレミアム商品券の
事業検証を

こうたけ
神武 綾 議員



録画映像はこちら

Q プレミアム付商品券事業は、キャッシュレスのだざいふペイと紙ラク商品券が発行され、地域事業者支援と市民生活の経済的支援の2つの側面がある。しかし事業者からは新規顧客の開拓につながっていない、換金手数料が上がり利益が減っている、市民からは家族全員抽せん

A ①顧客の来店頻度や購入額の増加などの効果が確認できており、域内消費が喚起され地域事業者の経営安定に寄与していると判断しています。

②市民からの期待や需要は高く、市民と地域事業者の結びつきの強化、地域内で消費する習慣の定着が図られると認識しています。

③域内経済循環強化の仕組みとして有意義だと考えています。今後については、事業実績や太宰府市商工会からの報告、市民の声などを総合的に勘案し、県の補助金の動向も踏まえて検討していきます。



プレミアム付商品券使用可能店舗
掲示タペストリー・のぼり

全質問項目

- ◇プレミアム付商品券事業について
- ◇学院中学校施設整備について
- ◇指定管理者制度について

Q 6月議会では個別避難計画の進捗を伺った。今回は災害時要配慮者など発災時にご本人自身では避難できない方々の避難とその避難訓練について5点伺う。

①避難訓練の意義について
②障がい者や個別避難計画作成済みの対象者の避難方法について
③その避難方法の有効性について
④屋内・垂直避難の有効性について
⑤避難訓練の実施計画について

A ①避難訓練は災害時の迅速かつ的確な行動につながり、避難経路や危険箇所の把握、地域連携や防災意識の向上に寄与します。

②障がいの種類や状況に応じて担架や車椅子を備え、個別避難計画に基づき支援者と連携した避難を想定しています。

③災害の種類や状況により対応は異なるため、自治会や民生委員等と情報共有・連携を進めることが必要です。

④屋内避難や垂直避難は状況に応じた方法の選択が重要です。

⑤11月9日に市内全域で地震災害対応訓練を実施し、自治会ごとに訓練計画を作成する予定です。訓練案として、避難行動要支援者の安

全質問項目

- ◇災害時要配慮者の防災対策について



否確認訓練を提案しています。



録画映像はこちら

問 災害時要配慮者の
防災対策強化を

もりた まさつぐ
森田 正嗣 議員



録画映像はこちら



問 まちづくりビジョンを
はじめとする各計画の推進

さかい つよし
堺 剛 議員



録画映像はこちら

Q 2040年問題を視野に本市の今後の取り組みについて2点伺う。

A (1)①毎年見直しを行い、今後の取り組みに反映するよう努めています。

②複数の関連する関係課で連携した取組を行うように心がけています。

③地域活動の担い手育成のための支援に努めています。

④あらゆる媒体を活用して、より分かりやすい情報提供に努めていきます。

⑤各種法令に基づき、国県の負担金、補助金等を財源としています。

②重要な意味を持つ施設になりますので、検討を重ねる必要があると考えています。

②施設に持たせる機能や費用などを鑑み、コミュニティセンターの設置についても



第四次太宰府市地域福祉計画

総合的に検討していきます。

③今後も新しい公共の視点をもって、組織横断的に様々な支援を行います。



問 暮らしに影響する
交差点への今後の対応

いりえ じげ
入江 寿 議員



録画映像はこちら

Q 市内の交差点整備について2点伺う。

A ①大宰府政庁跡交差点は、一車線

②観世音寺前交差点は、押しボタン式信号機により歩行者にとっては利便性が高い一方で、車両の右左折が制限され、立ち往生する車両が見受けられる状況である。現状の把握および改善策について伺う。

②観世音寺前交差点は、朱雀方面から右折する際に特に車両の流れが滞ります。観世音寺側が史跡地かつ私有地であることを考慮したうえで、引き続き関係機関と協議・検討を行います。



大宰府政庁跡交差点

全質問項目

- ◇本市の将来を展望したまちづくりビジョンについて
- ◇本市のデマンド交通実証実験と交通インフラについて

全質問項目

- ◇市内交差点の整備について
- ◇通学路の整備について



問 森林環境譲与税の積極活用を

いまいずみ
今泉 義文
議員



録画映像はこちら

Q 令和元年度より、森林環境譲与税が全国の市町村および都道府県に配分されるようになったが、報道によれば、その約4割が活用されず基金に積み立てられている状況である。そこで、森林環境譲与税について3点伺う。

①森林環境譲与税の交付額および基金の状況について
②森林環境譲与税の具体的な活用計画について
③未使用のまま基金への積立てが継続される場合の対応方針について

万円であり、現時点の基金残高は約1,554万円です。これまでに約3,929万円を基金から繰り入れ森林環境譲与税事業を実施しています。

②令和3年度に森林整備実施計画を策定し、令和4年度以降はこの計画に沿って毎年調査を行っています。その調査結果をもとに、令和5年度から順次森林整備に着手しています。また、木材利用の促進を図る取組として、いきいき情報センター1階のフリースペースに木製本棚を設置しました。

③毎年、森林調査や森林整備の財源として基金を活用しており、交付された森林環境譲与税が未使用のまま積み立てられることはないと考えています。



全質問項目

- ◇森林環境譲与税の活用について
- ◇市民主体による「まちピカ運動」の導入について



問 デマンド交通と路線バスを組み合わせよ

かさり
笠利 毅
議員



録画映像はこちら

Q 本年12月から令和8年3月まで（※）、五条から高雄にかけてデマンド交通の実証実験が予定されている。少なくとも朝夕はバスを運行する必要があるが、デマンド交通との併用が求められるため2点伺う。

①令和8年4月以降の西鉄バスの運行について
②まほろば号の導入について

①運行されている路線バスが突如なくなるのではないかと不安が続いており、廃止となると沿線住民やバス利用者は急激な変化を強いられることになります。西鉄には利用状況や地域の実情などを伝え、交通手段の検討、廃止期限のさらなる延長など協議を重ねていきます。

②深刻な運転手不足という現状のもと、まほろば号の路線拡大や運行便数の充実のためには、他路線の縮小・減便等の最適化、バス以外の交通モードによる運行など、様々な検討が必要です。市全体を広い視野で見つつ、地域公共交通の再構築を目指し検討を継続していきます。

※運行開始予定時期は令和8年1月下旬に変更となりました。



まほろば号

全質問項目

- ◇デマンド交通とバス路線の併用について
- ◇プラスチック資源の回収について